脆弱性情報コーディネーションおよび開示ポリシー

株式会社クボタ

1. 概要

株式会社クボタ Product Security Incident Response Team（以下、Kubota-PSIRT）は、当社が製造・提供する製品およびサービスに関する脆弱性情報の受付・評価・対応を行います。

本ポリシーは、当社製品のセキュリティ向上を目的とし、ユーザーに対して適切なリスク低減策を提供するため、報告された脆弱性情報の取り扱い方針を示すものです。
製品開発時にセキュリティを考慮した設計をしておりますが、万が一、脆弱性が発見された場合において、ユーザーからの報告を受け付けることを目的としています。

本ポリシーは、予告なく改訂される場合があります。

2. 範囲

この脆弱性開示ポリシーは、以下の製品およびサービスの脆弱性にのみ適用されます。
本ポリシーの対象は、クボタブランドの農業機械・建設機械製品および関連ソフトウェア・サービス、それらに関するデータベース・サーバなどのインフラ基盤に限ります。
対象期間は、製品の販売後からサポート期間(10 年間)が終了するまでとなります。

3. 脆弱性情報の報告

(1) 脆弱性情報受付専用窓口

脆弱性情報は、以下の方法で Kubota-PSIRT までご報告ください。

・脆弱性報告フォーム

(2) 受付確認と対応

・原則として、報告受領後 5 営業日以内 に受付確認のご連絡を差し上げます。
・お客様情報の入力欄に連絡先の記載がない場合、受付確認および進捗状況の共有のご連絡ができなくなりますので、ご了承ください。
・善意に基づく報告に対して、当社は法的措置を講じません。
・必要に応じて、追加情報の提供をお願いする場合があります。
・当社では、バグバウンティ（報奨金制度）は実施しておりません。

4. 脆弱性の定義

本ポリシーにおいて「脆弱性」とは、当社製品（ソフトウェア・ハードウェア・ファームウェアなど）に存在するプログラムの不具合、設計上の欠陥等により、機密性・完全性・可用性に対して悪影響を及ぼす可能性のある問題をさします。

5. 報告に必要な情報

報告を円滑に進めるため、可能な限り以下の情報をご提供ください。

（1）対象製品およびバージョン情報（該当製品の URL、ロットナンバー等）
（2）脆弱性発見の経緯（使用ツール、検証環境など）
（3）再現手順および PoC（Proof of Concept）
（4）想定される影響および脅威シナリオ
（5）公開予定の有無およびその時期（例：カンファレンス発表、ブログ等）

6. 報告後の対応方針

・Kubota-PSIRT は報告内容を精査し、関係部門と協力して影響評価と対策検討を行います。
・サポート種別：ECU のソフトウェア更新や交換を行います。
・サポート方法：販社・ディーラー経由でセキュリティパッチを配信し、ECU のセキュリティ対応を行います。
・サードパーティ製コンポーネントに起因する場合は、該当ベンダーおよび調整機関（例：JPCERT/CC）と連携します。
・対応状況は、報告者に対して定期的に進捗状況を共有します。(30 日ごと、もしくはそれより短い頻度)
・上記の定期的な進捗状況の共有は、メールもしくは電話などでコミュニケーションを実施します。

7. 脆弱性情報の開示ポリシー

・Kubota-PSIRT は、対応完了後、当社ウェブサイトにて以下の情報を開示します。
　脆弱性・インシデントの情報の一覧
　- 対象製品とバージョン
　- 脆弱性の概要（技術的詳細(攻撃コードや不正利用に繋がる内容など)は除く）
　- 影響範囲と対策内容
　- CVE 番号（該当する場合）
・CVE 番号は、JPCERT/CC と調整のうえ取得し、報告者に通知します。
・報告者の希望がある場合、クレジット表記を行います（匿名希望も可）。

8. 改訂履歴

・2026 年 6 月 5 日：初版策定